



# 日本学術会議 公開シンポジウム

## 科学と市民と農業 — 科学技術イノベーションの役割 —

主催：日本学術会議食料科学委員会農業情報システム学分科会  
日本生物環境工学会  
東京農工大学大学院農学研究院農業環境工学部門

後援：日本農業工学会、農業情報学会、農業食料工学会、農業農村工学会、農村計画学会、農業施設学会、日本農業気象学会、生態工学会、園芸学会

総合司会：安永円理子（日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科准教授）

開会の挨拶：清水 浩（日本学術会議連携会員、京都大学大学院農学研究科教授）

SDGsにおける科学技術コミュニケーションの役割（仮）

渡辺美代子（日本学術会議副会長、国立研究開発法人科学技術振興機構副理事）

ノウハウと技術の結晶である農作業の翻訳（仮）

澁澤 栄（日本学術会議第二部会員、東京農工大学大学院農学研究科教授）

地域農業の担い手にいかに登場してもらうか（仮）

中島 正裕（東京農工大学大学院農学研究科准教授）

農業情報共有の技術と仕組み：本庄プロジェクトのめざすもの（仮）

島津 秀雄（NECソリューションイノベータ（株）主席アドバイザー）

ブルーベリー果実の周年収穫技術の開発と普及（仮）

荻原 勲（東京農工大学理事・副学長）

総合討論：座長 位田晴久（日本学術会議連携会員、宮崎大学名誉教授）

閉会の挨拶：高山弘太郎（日本学術会議連携会員、愛媛大学大学院農学研究科教授）

【趣旨】生産者や流通業者、そして消費者の間の情報共有の考え方と仕組み、農村地域の意識、生産者間の技術と知識の共有、新技術の開発と翻訳、などの事例を通じて、食料科学分野の学術的発展および研究開発の更なる進展を図る

平成30年9月21日（金）13:00-17:00

東京農工大学 府中キャンパス大講堂

東京都府中市幸町3-5-8

参加無料  
（定員200名）

参加申込み・問合せJ

jsabees2018@adthree.net

同時開催9月18日-21日



The meeting of Japanese Society of Agricultural, Biological and Environmental Engineers and Scientists 2018 Tokyo

日本生物環境工学会2018年東京大会

<https://sympo.adthree.net/jbaees/index.html>